

## 2025年 JATA 中部支部（愛知・岐阜・三重）「新年賀詞交歓会」報告

- 開催日:2025年(令和7年)1月17日(金) 11時30分～13時30分(10時45分受付開始)
- 開催場所:名古屋観光ホテル2F「曙の間」にて
- 参加者:合計328名

JATA 中部支部では愛知・岐阜・三重地区の3地区合同で、新年賀詞交歓会を開催するようになってから今回で10回目の開催となりました。

浅田副支部長の「開会の辞」の後、司会の NTA 藤井聡美さんから来賓紹介。続いて主催者代表(正副支部長・三県地区委員長・星野事務局長)の登壇紹介後、吉田支部長が主催者代表として挨拶。来賓代表として 中村中部運輸局長よりご挨拶。JATA 本部代表として蝦名理事長から挨拶。そして三県を代表し三重県観光部 生川部長ご挨拶と乾杯で懇談が始まりました。

吉田支部長からは「急速なインバウンドの伸びの中、インアウト双方向の拡大が重要であると冒頭話がありました」2月には「中部国際空港開港20周年イベント」として20歳以下パスポート取得CPがスタートします。

若者の海外渡航拡大が目的であります。ツーリズムEXPO愛知 中部北陸が当地で開催され、大阪万博とともに今年の観光産業の目玉となります。又、旅行の平準化をすすめるために「愛知県が推進しています「休み方改革」「ラーケーション」もポイントとなります。とのご挨拶をさせていただきました。

中村中部運輸局長から「インバウンドだけではなく日本人のアウトバウンドの重要性を十分意識している点、そしてツーリズムEXPOジャパン愛知・中部北陸は観光業のみならず経済界も含めて中部地域全体でバックアップしていきたい」との心強いメッセージがありました。三重県の生川観光部長からは「7年後の式年遷宮に向けて県として準備していきたい」とのご紹介がありました。

会の中で今年開催されますツーリズムEXPO愛知中部北陸のPRをTEJ推進室高木分室長よりさせていただきました。有意義な懇談の後、13時15分、堀尾副支部長の閉会の辞で、成功裡に幕を閉じました。

### 【主催者・ご来賓挨拶】



中部支部長挨拶

中部運輸局長挨拶

JATA 本部蝦名理事長挨拶

尚、当日の出席者328名の内訳詳細は下記のとおりです。

ご来賓20名、ご来賓随行者3名、領事館・海外政府観光局・協会11名、国内観光連盟・自治体6名、航空会社19社39名、旅館・ホテル40社58名、運輸機関(貸切バス)10社28名、TCSA会員4社7名、OTOA会員・その他旅行関連サービス8社12名、食事・観光施設4社4名、航空関連産業2社5名、中部賛助会員2社5名、JATA 本部 1名、JATA 会員38社124名(愛知108名・岐阜6名、三重10名)、総合司会1名、JATA 中部事務局4名



浅田副支部長(開会の辞)



生川三重県観光部長(乾杯)



堀尾副支部長(閉式の辞)



吉田支部長から受付スタッフへの挨拶



受付風景



正副支部長・三県支部長の来場者お出迎えの様子



会場の様子



最後に今回の新年賀詞交歓会の準備・運営・受付等にご協力をいただきました会員各社の皆様、年始のお忙しい中本当にありがとうございました。

尚、1月18日(土)中日新聞朝刊「地域経済」13面に記事、写真が掲載されております